

兵庫県のり漁場環境情報（淡路周辺海域 5 号）

西浦・南浦海域で大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は前回(11/21)よりも、さらに減少しており少ない状況となっています。そのため窒素は、海域全般に $3\mu\text{g at/L}$ 台の値となっており、前回よりもやや上昇しています。

(珪藻、栄養塩)

各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、西浦・南浦海域で20細胞前後（前回値：50～250細胞）、東浦海域では確認されなかった。

海域全般に小型珪藻は、ほとんど確認されなかった。

※今回の海水サンプルは、塩田・西浦を除く全域で夜光虫が多く見られた。その影響で窒素(アンモニア態)が実際の値より高くなったため、アンモニア態窒素の値を補正した値を表示しています。

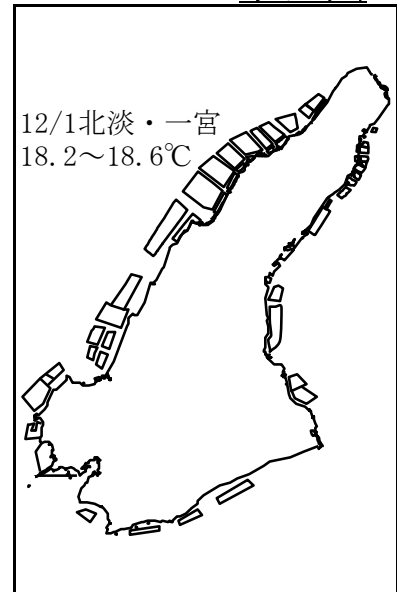
		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.4	3.8	4.9	5.6
	リン	0.54	0.70	0.54	0.65
西浦地先	窒素	2.2	3.1	4.5	4.6
	リン	0.50	0.55	0.64	0.75
南浦地先	窒素	2.2	3.4	4.3	4.3
	リン	0.47	0.97	0.57	0.58

(11/21)
※窒素・リン
の平均値は、
都志⑧を除く

※リンの平均値
は、阿万⑩を除く

(12/2)

水温図



栄養塩（窒素）図

2025年12月 2日調査

